

言語対照研究系  
基幹型共同研究プロジェクト

述語構造の意味範疇の普遍性と多様性

リーダー： 教授 プラシャント・パルデン

研究目標

意味的他動性が、出来事の認識とその言語表現  
および言語習得にどのように反映されるかを解明する。

言語類型論班(研究者47名)

- 日本語を含む世界の35言語の様相の解明
- 多言語対照による言語の多様性と普遍性の解明

心理言語学班(研究者5名)

- 外界の認識・捉え方と言語表現の関係の解明
- 外界の認識における多様と普遍性の解明

言語習得班(研究者4名)

- 外国人日本語学習者の日本語自他動詞の習得メカニズムの解明
- 言語習得における多様性と普遍性の解明

基本動詞ハンドブック  
作成班(研究者26名)

- 日本語研究・教育者、上級学習者用ハンドブックの作成
- 日本語学・日本語教育へ研究成果を還元

一般言語学、日本語学、日本語教育、  
心理言語学に大いに貢献